

## 平成25年度 第4回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

平成26年2月20日（木）18:30～20:00

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者	9名…柏崎、浅羽、神津、澤田、早川、古田、前川、吉田（正）、佐藤
欠席者	3名…井上、根本、吉田（弘）
事務局	2名…市民生活課 松尾、川瀬
指定管理者	2名…NPO法人YMCAコミュニティサポート 高橋、大島（理）
傍聴者	0名

- 配布資料
- 1 利用状況・利用者の声
  - 2 のたろんフェア 2014 報告
  - 3 ロッカー使用料の改定について
  - 4 よこすか元気ファンDPANフレット
  - 5 市民公益活動団体 新規・異動分
  - 6 サポートセンター運営懇話会座長の改選について
  - 7 平成26年度運営懇話会開催日程予定
- ・ ひくてあまたのお父さんプロジェクトチラシ

### 1 報告事項

#### 1-（1）利用状況・利用者の声について

指定管理者及び市民生活課から、資料1に沿って報告した。

（指定管理者）

- ・1月の利用者数が前年度より減少しているのは、のたろんフェア2013・クリーン大作戦が1月に行われ、そこにクリーン清掃応援隊100人以上の参加があったため。今年のクリーン大作戦は2月開催で清掃応援隊の参加は無し。
- ・全体的に昨年度比微増で進んできている。
- ・印刷機利用収入は若干増えているが、実費程度の料金設定にしており、利益を出すものではなく、健全な運営がされている。
- ・利用者の声で「写真がうまく刷れない」というものがあった。微調整はしているがなかなか難しい。パソコンと印刷機をつなげる、またはパソコンにソフトをダウンロードして製版データを作成し、USBで印刷機へデータを送るコンピューター製版を検討中。オペレーションにある程度スキルを要するため、印刷精度を要する希望団体に対する試験的運用から始めるかも。
- ・「楽譜が印刷できない」という声については、楽譜作成ソフトが入っていないパソコンからは印刷できないものなので、その旨ご説明しご理解いただいた。
- ・節電のため空調や照明を抑えている。要望があればすぐに対応するが、翌日には元の設定に戻る。

（市民生活課）

- ・久里浜・追浜利用実績は前年度比減が続いている。前回の懇話会でのご提案いただいた予約制の導入なども可能性を検討していきたい。
- ・利用促進のため、汐入、久里浜、追浜 3 館の利用案内を全町内会長あてに 3 月に送付する予定。来年度は広報よこすかでも記事スペースを割いて紹介したい。
- ・コピー機は機種が新しくなったが印刷機に比べ利用率が低い。
- ・久里浜・追浜の印刷機は故障が多く、そろそろ機器更改を考えていかなければならない。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・汐入と、久里浜・追浜の印刷機利用料金はなぜ違うのか？  
→汐入は 25 年度から印刷機の調達と料金収入が市から指定管理者へ移り、それに合わせて新しい機器を導入し、消耗品コストを勘案した料金を独自に設定している。一方、久里浜・追浜は市の管轄のまま、これまでのどおりの料金設定を変えていないため。(市民生活課)
- ・一般の利用者には指定管理者と市という関係が理解しづらい。  
→実際のところは機器が違うため、という理由になる。今は利用量に応じた負担ということから多くの施設で製版代(製版マスター代)+印刷代(インク代)をいただくという形式に変わってきている。汐入は 25 年 7 月に機器が新しくなり、コインベンダーもこうした利用料金設定が可能になった。新しい施設、新しい機器についてはより公平な負担となる料金設定にしている、とご理解いただければ。(指定管理者)
- ・久里浜・追浜も機器が新しくなったら汐入と同様の料金設定になるか？  
→他の市直営の施設にも印刷機があるため、どのような設定となるかは現時点で未定。(市民生活課)
- ・紙コップが飛んだ、という件については説明が分かりやすくなっているのか？  
→写真付きで説明が書いてあるが、読まない人は読まないもので、対応が難しい。(指定管理者)
- ・紙コップを回収機に入れると 10 円が戻るということを逆手にとってその自販機で買ったものではない紙コップを回収機に入れて 10 円を稼ごうとした事件があったが。  
→以前そういうことがあった際には注意をした。また、回収機にもセンサーがあってその自販機の紙コップを認識するようになっている。(指定管理者)

## 1-(2)のたろんフェア 2014 報告

指定管理者から資料 2「のたろんフェア 2014 報告」に沿って、報告した。

(指定管理者)

- ・2月8日・9日開催、参加団体 76、二日間の来場者数は 3,609 人。
- ・大雪の影響で初日は外ブースを全て館内に移した。2 日目も外ブースは一部のみ。
- ・募金は 8 団体、署名は 1 団体が実施。
- ・のたろんステージは 9 団体。U-Stream で生中継。サポセン館内でも映像を流した。
- ・その他各企画については資料のとおり。
- ・今年のフェアは大雪に見舞われ、危機管理が大きなテーマとなった。今から考えればどこかで中止にするか、またはより早いタイミングで帰宅案内をする選択肢もあったかもしれないが、当日はそこまで読めなかった。

当日 13:30 頃、参加団体には各自の判断で帰宅して構わないとの案内をした。そこで一部は撤収したが、半分以上の団体はそのまま 16:00 まで会場に残られ、結果として交通機関が不通で帰宅できない方もいた。我々の決断のタイミングについても、この後の実行委員会や報告会で話をし、皆さんにも報告していきたい。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・横須賀歩け歩け協会は 2 日目にウォーキングを計画していたが、雪が残っていたため中止。また次回参加したい。
- ・のたろんフェアもこれで全天候を経験したが、今回のような非常事態にあたっては、早めの対応を考えていきたい。
- ・大学生の運営ボランティアが雪かきをがんばってくれて感謝。
- ・喫茶コーナーの装飾の位置が高過ぎて目に入らなかった。人の視線を意識したレイアウトや飾り付けを。お揃いの T シャツを着るなど、より目を引く楽しい演出が大事。まだ工夫できるところがある。
- ・ミニ体験コーナーに置いたスクリーンが「のたろんフェア 2014」の飾り付けを邪魔してしまっていた。
- ・高校生のボランティアとの交流が楽しくてよかった。のたろんフェアは交流のチャンス。学校にもっと PR しては。  
→今回ののたろんフェアに寄せられたポジティブな意見として、他団体との交流が今までにないくらいできた、というものが複数あった。(指定管理者)
- ・悪天候で一般来場者は少なかったが、いらした方には一人一人細やかな対応、交流ができたという事は良かったのではないかな。

### **1-(3)ロッカー使用料の改定について**

市民生活課から資料 3「ロッカー使用料の改定について」に沿って報告した。

(市民生活課)

- ・平成 26 年 4 月の消費税率改定に伴い、市の施設全般で使用料が引き上げられる。サポートセンターではロッカーの使用料が該当し、大中小それぞれ月額 10 円ずつ、年間にして 120 円の値上げ。
- ・消費税率改定に伴うサポートセンター維持管理に係る経費の負担増を利用者に負担いただくもの。スタッフの皆さんに協力いただき周知をしていく。

### **1-(4)よこすか元気ファンド募金箱について**

市民生活課から資料 4 をもとによこすか元気ファンドの概要説明と、募金箱の設置について報告した。

(市民生活課)

- ・よこすか元気ファンドは市民の皆さんから寄せられた寄附金を積み立て、市民公益活動団体への補助や、市民公益活動ポイント制度に役立てられている。

- ・補助対象となる市民公益活動団体は年々増加しているが、寄附金はなかなか増えない。また市民公益活動ポイント制度が本格稼働したのちには更に資金が必要となり、寄附金を増やす工夫をしなければならない。
- ・市民活動サポートセンターのレターケース上部に元気ファンドや補助対象団体の紹介パネルを掲示し、各テーブルに募金についての立て札を置き、募金箱は受付に設置する予定。
- ・サポートセンターの利用者は自ら市民活動をしていることもあって、志が高く理解があるのではないか、ということで募金箱を設置させていただくことになった。

### **1-(5)災害時の帰宅困難者受け入れについて**

市民生活課から2月14日の大雪への対応について報告した。

(市民生活課)

- ・2月8日の大雪に伴う交通機関不通により帰宅困難者が多く出て、その後市民からの要望もありサポートセンターで帰宅困難者を一時受け入れする件について市の担当部署より要請があった。
- ・2月14日に再び大雪が予想されたため、市民生活課からサポートセンター指定管理者に対応を依頼、連絡体制を整えて受け入れ準備をした。結果としてセンターの閉館時間までは交通機関も運行していたため、受け入れは行われなかった。
- ・今後同じようなケースにおいてはサポートセンターを帰宅困難者一時待機施設として開館する可能性がある。改めて市と指定管理者とで協議をし、決定事項については報告するが、災害時ということをご理解いただきたい。

## **2 議題**

### **2-(1)市民公益活動団体について**

指定管理者より資料5に沿って前回以降の新規登録団体について説明があった。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・法人格の「その他」、「個人事業」とは。  
→法人格「なし」に修正。(指定管理者)
- ・削除団体とはどのように削除されるものか。  
→団体からの削除依頼があって初めて削除される。実行委員会は事業が終わって解散となる会が多いかと思われるが、こちらから聞くことはしていない。実際の活動について調査はしていないが、年度末には更新の手続きをしているので、そこでデータベースに残すかどうかの意思確認はできている。(指定管理者)

### **2-(2)運営懇話会座長の改選について**

市民生活課より資料6に沿って座長の改選について説明があった。

(市民生活課)

- ・運営懇話会の構成員は要綱の規定に基づき任期 2 年だが、慣例として奇数年度に座長を改選し、座長となった方にはそこから丸 2 年懇話会に座長として在任いただく形をとってきた。懇話会は全員が公募であるため、会の継続性を保つことが目的。
- ・市の審議会等に関する指針では委員の在任期間は 6 年以内とされているため、今回 4 年を超える構成員以外から座長を選出したい。

(立候補あがらず)

- ・現在職務代理をしていただいている柏崎さんをお願いしたい。(懇話会構成員)  
→ (全員の拍手)  
→ 柏崎職務代理に平成 26, 27 年度の懇話会座長を引き受けていただき、全員で承認。
- ・座長職務代理については平成 26 年度第 1 回の懇話会で座長に指名いただくことで了承。

### 3 その他

#### 3-(1) ひくてあまたのお父さんプロジェクトについて

指定管理者よりチラシに沿って企画の説明があった。

(指定管理者)

- ・中高年の自殺が多く、社会的な課題。NPO や町内会・自治会の中心は 70 歳代で後継者がいない。中間支援をしている団体として、このマッチングができないか、と考えていた。
- ・昨年度 4 月から続けてきた生涯学習財団とボランティアセンターとの 3 施設長の情報交換会で提案したところ是非自分たちも参加したい、ということになった。横須賀でもう一度働きたい、というニーズにも応えるためさらにシルバー人材センターを加えチームを組んだ。
- ・横須賀市の市民協働推進の集いに YMCA コミュニティサポートの企画が採用されたため、これをメイン企画として各団体から協力企画を集めたプロジェクトを立ち上げた。
- ・1 回で終わらせるのではなく、継続していきたい。次回は 11 月末から 12 月にかけて実施する予定。この年代の人たちに必要な年金や終活に関するノウハウものもどんどん入れていきたい。
- ・ボランティアの育成、交流はこれまでも取り組んできた。学生についてはある程度成功したが団塊の世代についてはなかなか成果が出ない。このプロジェクトに注力したい。
- ・若い人が先を見据えて参加されるのも、女性の参加ももちろん歓迎。

#### 3-(2) 市民協働推進補助金とモデル事業応募状況について

(市民生活課)

- ・締め切りは 2 月 21 日、現時点で補助金 8 団体・モデル事業 1 団体の応募あり。
- ・3 月 18 日に市役所にて応募団体の公開プレゼンテーションがあるので、是非ご来場ください。

#### 3-(3) 平成 26 年度運営懇話会開催日程について

市民生活課より資料 7 に沿って日程の説明があった。

## 連絡事項

(指定管理者)

- ・意見交換会を開催希望。  
→新旧座長で調整の上日程調整。

(市民生活課)

- ・第2回懇話会で市民表彰に推薦する団体について意見をいただいたが、その後指定管理者から3団体を推薦いただき、「16ミリ試写室」・「三浦半島自然保護の会」・「横須賀学の会」が2月16日に市民公益活動に貢献した団体として表彰された。また来年以降も続けていきたいのでよろしくお願ひします。

以上